

議題 5 令和元年度地域密着型サービス事業者の募集について（報告事項）

1 地域密着型サービス事業者の公募について

（1）定期巡回・随時対応型訪問介護看護（補助金あり）

ア 募集内容

千葉県高齢者保健福祉推進計画（平成30年度～平成32年度）等に基づき、各区に2か所以上整備するため、現在定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所がない圏域に限定した募集を行った。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、地域包括ケアシステムの構築の観点からすれば、地域展開を行い地域住民の在宅生活を支える機能が期待されるが、実際には施設併設型の事業所が多く、利用者の多く又はほとんどが当該施設の入居者となっているため、施設に併設しないことを条件として公募を行った。

イ 公募結果

応募事業者なし（募集数：1事業所）

（2）小規模多機能型居宅介護又は看護小規模多機能型居宅介護（補助金あり）

ア 募集内容

千葉県高齢者保健福祉推進計画（平成30年度～平成32年度）等に基づき、全ての日常生活圏域に1か所以上整備するため、現在小規模多機能型居宅介護又は看護小規模多機能型居宅介護の指定事業所がない圏域において限定して募集を行った。

イ 公募結果

応募事業者なし（募集数：1事業所）

2 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）の増床整備について

（1）増床整備について

千葉県高齢者保健福祉推進計画（平成30年度～平成32年度）では、平成30年度54人分、令和元年度54人分、令和2年度72人分の整備を定めている。

今年度の整備手法は、前年度と同様に、既存事業所の体制強化・経営の安定化を目的として、3ユニット（27人）までの増床を優先して行うこととし、増床希望調査を行ったうえ整備事業者を選定した。

(2) 整備選定数

令和元年度整備選定数 94人分

※当初、令和元年度の整備予定数76人分に対して増床希望調査で整備予定を上回る回答があったため、今年度中に全ての増床整備が完了する訳でないことから、令和2年度整備予定分72人分のうち18人分を前倒しで整備を進めることとした。

3 今後の予定

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

令和元年度の追加公募は行わない。

補助金を活用しない指定申請は、引き続き随時受け付ける。

<理由>

定期巡回・随時対応型訪問介護看護に期待されるメリットを活かすためには、補助金を交付して整備する場合には施設併設を認めないという本年度の条件を緩和すべきでないとする。このこともあり、追加公募を行っても応募が見込めないことから実施しないこととする。

令和2年度の公募は、募集地域の拡大など条件の見直しを検討したうえで実施していく予定である。

(2) 小規模多機能型居宅介護又は看護小規模多機能型居宅介護及び認知症高齢者グループホーム

令和元年度の追加公募は行わない。

補助金を活用しない指定申請は、引き続き随時受け付ける。

<理由>

(看護)小規模多機能型居宅介護は、要介護者の様態や希望に応じて、「通い」「訪問」「泊まり」及び多様なニーズに対応する機能を組み合わせてサービスを提供することから、運営が難しく、同一の条件で追加募集を行っても応募が見込めないため、実施しないこととする。

令和2年度の公募は、(看護)小規模多機能型居宅介護事業所を安定的に運営していくため、平成29年度までの募集方法と同様に、利用者が固定しており、介護報酬が安定している認知症高齢者グループホームと併設することを条件として募集するほか、併せて募集地域の拡大も検討する。